

【選択問題】 早大商学部

7

次の〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕に答えなさい。

- 〔Ⅰ〕 次の文章を読み、空欄 1 ～ 10 については、記述解答用紙の所定欄に適切な語句・数字を記入せよ。また、下線部 11 は、その概略について記述解答用紙の所定欄に 100 字以内で説明せよ。なお、句読点・算用数字も 1 字とする。

アメリカ合衆国憲法には「出生による合衆国市民、あるいはこの憲法制定時に合衆国市民である者でなければ大統領になることはできない。35 歳に達しない者、また 14 年以上合衆国の住民でない者は、大統領になることはできない」と記されている。「憲法制定時に合衆国市民である者」との規定は、1 年に合衆国憲法が採択された当時、合衆国生まれで 35 歳以上の有資格者が不在だったからで、事実、初代大統領から第 10 代大統領のうち 8 人は独立宣言よりも前、2 領時代の北米植民地で生まれた大統領であった。また、両親がアメリカ人であれば国外で生まれても大統領になる資格を与えられたが、外国から 3 としてアメリカに渡った後に帰化した者は、大統領になる資格を与えられなかった。

大統領選挙は事実上、民主・共和の両党が党大会で選出した候補者同士の対決となっている。両党は党大会で候補を指名するための準備として、各州が支持する候補者を一般党員の投票で決める予備選挙や党員集会を開くが、なかでも大統領選挙年の 3 月初旬の火曜日に南部諸州を中心に一斉に予備選挙を行う、いわゆる「4」は広く知られている。そしてアメリカ大統領選として、11 月初旬に国民の直接投票による一般投票が行われ、選ばれた各州の大統領選挙人が 12 月に勝者総取り方式の形式的な投票を行って大統領を決定する。この独特な仕組みのため、5 年の大統領選挙では、共和党の G.W.ブッシュ候補が、当時の副大統領であった民主党のゴア候補に対し、国民による一般投票の得票数で 50 万票以上も下回っていたにもかかわらず、大統領選挙人の獲得数の集計をめぐる大混乱を経て大統領に当選するような事態が生じた。また、住宅バブルの崩壊から始まった 2008 年のリーマン＝ショックが起きた年の大統領選挙の際には、予備選挙の段階で、勝者総取り方式¹¹を廃止していた民主党が、党を代表する大統領候補をハワイ州出身の 6 候補になかなか一本化することができなかった事態も起きている。

大統領の任期については 1 期 4 年で、現在は 2 期 8 年まで務めることができるが、かつて民主党のフランクリン＝ローズヴェルトは 4 選を果たしたことがある。彼は、1929 年に始まる大恐慌での自由放任主義にもとづく古典的資本主義経済の挫折を背景に、1932 年の大統領選挙で初当選し、「新規まき直し」を意味する 7 を掲げて連邦政府による統制経済の下、財政支出による公共事業の展開などで雇用を創出し、社会の安定とアメリカ経済の再生をめざした。彼は、新しいメディアである 8 を通じて大統領自ら政策説明を行ったことでも知られている。その後、1936 年に 2 選、1940 年に 3 選、1944 年に 4 選を果たした。この事例をうけて 1951 年からは憲法修正第 22 条で大統領の任期が 2 期までに限定されることとなった。

大統領の職務権限の継承は、憲法では「大統領が免職、死亡、辞任し、また権限および義務を遂行する能力を失った場合は、その職務権限は副大統領に委ねられる」と規定されている。過去の大統領のうち、9 人の大統領は、それぞれ 1 期目に副大統領から昇格している。第 37 代ニクソン大統領が 1974 年に 9 をめぐって辞任した後、副大統領から大統領に昇格したフォードは、新たな副

大統領としてスタンダード石油会社の創立者 10 の孫にあたる人物を指名したが、これは大統領と副大統領の双方が、大統領選挙の洗礼をうけずに就任するという、アメリカ史上初の事例となった。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、問A～Cに答えよ。解答は記述解答用紙の所定欄に一つだけ記入せよ。

19世紀以降のラテンアメリカ諸国で独立運動が盛んになるのは、ナポレオン戦争によるところが大きい。1810年代から1820年代にかけてスペインから^Aアルゼンチン、チリ、^Bコロンビア、メキシコなどが独立し、ポルトガルからはブラジルが独立した。19世紀末以降、カリブ海地域は次第にアメリカ合衆国の政治的影響下に置かれていった。第二次世界大戦後の冷戦下では、反共体制として米州機構が組織されたが、^C反米的な動きを見せるラテンアメリカ諸国もあった。

問A 下線部Aに関して、正しいものはどれか。

1. 19世紀のイギリスは、ラテンアメリカ諸国への経済進出に大きな関心を抱いた。
2. 国際価格の影響を全く受けないモノカルチャー経済を特徴とする。
3. 独立後の労働人口は、南欧からの季節労働者であるカウディーリョによって支えられた。
4. 20世紀後半に累積債務に苦しんだラテンアメリカ諸国は、国際通貨基金(IMF)の勧告に従って債務不履行を宣言した。

問B 下線部Bに関して、正しいものはどれか。

1. アルゼンチンでは、メスティーソ出身のサン＝マルティンが独立を指導した。
2. チリでは、クリオーリョ出身のアジェンデの活躍によってスペイン軍を撃退し、独立を達成した。
3. コロンビアでは、シモン＝ボリバルの指導の下、エクアドル・ベネズエラなどの領域を合わせて大コロンビア共和国が樹立された。
4. メキシコでは、「解放の神学」を唱えたイダルゴ神父によって独立運動が開始された。

問C 下線部Cに関して、誤っているものはどれか。

1. グアテマラでは、1950年代に民族主義的な政権がアメリカ系のユナイテッドフルーツ社を接収した。
2. キューバでは、1950年代に社会主義を宣言したカストロが、アルゼンチン出身のゲバラらとともにキューバ革命を起こした。
3. ニカラグアでは、1970年代にサンディニスタ民族解放戦線がソモサ独裁政権を打倒し、キューバやソ連に接近した。
4. ベネズエラでは、1999年にチャベス大統領が就任し、国有石油会社の統制など反米路線を表明した。